

SHIRATAKA  
PUBLIC  
RELATIONS



# しらたか 広報

最上川の世界遺産登録に向けて  
最上川の文化的景観を基軸にした  
まちづくり推進会議②  
最上川・五百川峡谷シンポジウム開催③

平成21年度白鷹町重要事業要望④  
白鷹町地域農業活性化センター設立⑥  
(仮称)白鷹町文化交流センター愛称投票⑧  
第43回白鷹若鮎マラソン大会⑩

7.11  
JUL 2008  
NO.996



キャンドルナイト in 東根小学校 — ろうそくが照らした親子の心

7月4日、東根小体育館で、3年生(13人)の親子によるキャンドルナイトが行われました。学校への宿泊行事の一環で、環境を考える機会をつくらうと学年部会が企画しました。子どもたちはリコーダー演奏、暗唱朗読を披露。また、お父さんお母さんからは子どもに対し「生まれたときはみんなで喜んだよ」「いつも手伝ってくれてありがとう」などと、親子がハート形の火に包まれ、向かい合って話す光景は印象的でした。環境を考えながら、心まですがすがしくなった時間でした。

郷土をはぐくんだ母なる川・最上川を中心にまちづくり

# 最上川の文化的景観を基軸にしたまちづくり推進会議を設立

山形県では、最上川の世界遺産登録に向けた取り組みを進めています。その動きを理解し、町民と町が協働で地域づくりに取り組んでいこうと「最上川の文化的景観を基軸にしたまちづくり推進会議」を設立しました。

6月21日には、中央公民館大ホールで、関係者約150人が出席し、設立総会が開催され、規約や事業計画などを決定しました。

## 地域の再発見 郷土に誇りを

最上川は、古来より悠々と流れ、この地の文化、信仰、産業に大きな恩恵を与えてきました。そしてなにより、この地に暮らす人びとは最上川の恵みに感謝し、生命をつないできました。田畑を潤すための水源、水産資源の漁場、人びとや物資、文化を運ぶ道など、最上川の文化的資産の価値は非常に大きく、計り知れません。

今、その文化的資産を見つめ直し、再評価することで、わたしたち自身が町や地域へ

の愛着を持ち、町での暮らしへの誇りを深めることができているのではないだろうか。そして、それは新たな価値をつくりだしていくことにつながります。本推進会議は、山形県が進める最上川の世界遺産登録への取り組みや山形県景観計画と連携し、価値ある多様な文化的景観の再評価と、それにさらに磨きをかけ価値を高め、交流を深める活動などを通して、町やコミュニティの活性化を進めることを目的としています。

## 取り組む4本柱 未来へ引き継ぐために

①発掘と証明【最上川の文化的景観の掘り起こしと資産価値の証明・資産目録の検討】

物資輸送などの舟を通すために掘られた「舟道」や川沿いの道から綱で舟を引いたという「綱手道」を調査するなど、流域の歴史的資産を発掘し、その価値を証明していきます。

②活用と交流【最上川の文化的資産の活用と交流の促進】

散策路（フットパスなど）やビューポイントを整備し、案内板の設置、ガイドマップの作成を行うなど、交流拡大に向けた取り組みを積極的に進めます。

また、黒滝周辺など親水区域の整備、ホテルの生息運動、水質浄化運動など、最上川に触れ、環境を改善する取り組みを行います。

③歴史物語【景観回廊イメージ図の作成（山形県景観回廊事業との連携）】

白鷹町にある古典桜や歴史遺産・伝統工芸を調査・分析し、それらを盛り込みながら回廊イメージ図を作成します。また、移動手段・看板駐車場・ストーリーづくりなどの検討を行います。

④意識醸成【景観条例、景観計画の検討】

文化的景観や文化環境に対する町民の意識を盛り上げるとともに、景観地区の検討や規制などに対する意識調査を行います。



▲渇水期、舟道はその姿をくっきりと現しました。

## 地域力がつくる 事業を進める2部会

本推進会議は、町の関係機関、区長会、公民館、景観関係団体、歴史研究家などで構成し、具体的な上記の取り組み（事業計画）は、2つの部会をつくり進めていくこととなります。

### ○舟運文化部会

舟道や世界遺産登録運動などを踏まえ、最上川河岸域における資産調査や保護、活用を検討します。

### ○景観回廊部会

町全域における文化的景観の調査や保護、活用の検討を行います。また、県の景観回廊モデル地区の指定に向けて、調査検討を行います。

■問い合わせ まちづくり推進課企画振興係（☎85-16110）



# 最上川の世界遺

最上川流域トップクラスの景観美・五百川峡谷

## 白鷹、朝日、大江の3町が

### 広域観光推進協議会を設立しました

7月27日、最上川・五百川峡谷シンポジウム開催



景観に境界はない  
五百川峡谷の魅力を発信

最上川でも特異な地形から手つかずの景観美が残る最上川・五百川峡谷を擁する白鷹町、朝日町、大江町が広域観光推進協議会を設立しました。村山・置賜の区域を超えた取り組みで、五百川峡谷の魅力、最上川舟運の歴史と文化を探り、3町の特色ある地域資源を生かした観光交流を進めていきます。事業期間を3年間とし、平成20年度は「最上川・五百川峡谷シンポジウム」を開催するほか、五百川峡谷の实地調査や新しい観光ルートづくり、共同PRチラシ作成などを行います。

本協議会は、3町の長で構成し、会長に鈴木浩幸朝日町長、副会長に橋本光記白鷹町長、監事に渡辺兵吾大江町長が着任しました。各首長が互いに手を取りあい、今後の観光振興や地域振興へ向けた取り組みなどの連携について、確認しました。

今後3カ年間の主な事業計画は次のとおりです。なお、初の事業となるシンポジウムには、3つの町役場を含む16団体の協力により、開催されることとなります。

#### 3カ年の主な事業計画

○観光資源ブラッシュアップ事業

最上川の魅力と観光資源の掘り起こしを行い、観光振興策を探る。

○三町交流事業

3町のイベント、観光スポット、物産などの情報発信を相互に行い、観光交流を進める。

○誘客宣伝事業

連携した誘客宣伝を行い、誘客に結びつける。

古からの地域を潤してきた舟運文化、河岸から切り立ったような山々がつくる特異な景観は、人びとを魅了し、県が取り組む世界遺産登録への取り組みの中でも中心的な存在となっています。3町それぞれ個性を生かしながら、県内外へ情報を発信し、観光の振興と交流の拡大、そして地域の活性化へつながることが期待されます。

## 最上川・五百川峡谷シンポジウム

3町をつなぐ最上川・五百川峡谷の魅力を探り、これからの観光と交流に結びつけていくための住民参加のシンポジウムです。

- いつ 7月27日(日)
- どこで 朝日町「創遊館」

#### ●内容

##### ①基調講演1

「最上川の文化的景観」

阿部和久氏 (山形県教育庁文化遺産課長)



##### ②基調講演2

「最上川舟運と五百川峡谷」

梅津保一氏 (山形県史学研究会副会長)

##### ③現地ワークショップ

「五百川峡谷の未来と観光  
～最上川資源を生かした観光交流戦略～」

3町のフットパス(候補地)を歩く



##### ④パネルディスカッション

最上川・五百川峡谷という地域の宝を今後の観光振興や地域振興にどのように結びつけていくか。

○コーディネーター 長岡信悦氏

○パネリスト

奥山龍雄氏、石川博資氏、阿部和久氏ほか

\*参加費は無料です。

\*興味をお持ちのかたはどなたでもご参加ください。

\*参加申し込みは下記までどうぞ。

■申込・問い合わせ

産業振興課観光交流係 (☎85-6136)

# 平成21年度白鷹町重要事業要望をお知らせします

「重要事業要望」は白鷹町が発展していくための骨格となる重要な事業について、その事業が着実に実現するよう国や県に対し要望するものです。

平成21年度の重要事業として要望している主要な項目についてお知らせします。

## ① 地方財源の確保充実について

### 1. 地方交付税の確保

本町のような財政力の弱い過疎の地方公共団体に対して、地方交付税制度の持つ機能の堅持及び総量の確保を要望しています。

### 2. 過疎地域に対する過疎対策事業債の充実

過疎対策を進めていくための過疎対策事業債の確保と県道路事業負担金や義務教育関連施設の改修など起債対象事業の拡大を要望しています。

## ② 過疎地域の振興を目的とする新たな法律の制定について

過疎活性化対策として制定された過疎地域自立促進特別

措置法が平成22年3月で失効することから、過疎地域が活力ある豊かで住み良い地域として発展するために、過疎地域の振興を目的とする新たな法律の制定を要望しています。

## ③ 高度情報社会に向けた情報基盤整備の推進について

情報基盤の格差をなくし、「いつでも」「どこでも」「だれでも」平等に情報を受けることのできる高度情報社会の推進について要望しています。

1. 光ファイバー網の整備に向けた民間事業者への支援
2. 地上デジタル放送の難視聴地域に対する支援措置の拡充【新規】

## ④ 医師の確保及び定着化の推進について

地域住民に密着し地域医療を守ることを使命とする町立病院の安定的な経営を図るために、地方における医師の確保及び定着を要望しています。

## ⑤ 診療報酬の外来管理加算の時間要件(200床未満の病院)の撤回について【新規】

平成20年4月から外来管理加算を算定できる要件に加わった「医師のおおむね5分以上の診察」は、本町のような地域病院には不合理であり、その撤回について要望しています。

## ⑥ 農業生産基盤の整備について【新規】

本町においては多様な就農形態や農村環境を踏まえた施策の展開が必要になっており、生産性向上と経営の安定を図ることで集落営農を活性化し、豊かで潤いに満ちた農村環境を創造するために、農業生産基盤の整備について要望しています。

## ⑦ 荒砥橋整備の早期着工について

本町のまちづくりや東西地域の連携強化、交流拡大を図るために重要な荒砥橋整備の早期着工を要望しています。



▲車のすれ違いが困難な荒砥橋

## New Demand

### 新規 診療報酬の外来管理加算の時間要件(200床未満の病院)の撤回

平成20年4月の診療報酬改定により外来管理加算を算定できる要件に「医師のおおむね5分以上の診察」が加わりました。

地域の病院は、医師数に対して患者数が多く、1人で1日100人以上の患者を診ることも多くあり、看護師をはじめとした医療スタッフ連携のもと来院患者全員の診療にあたっています。医療スタッフによる患者とのさまざまなコミュニケーションを行った問診などを経て、医師との直接面談による診察は2分から数十分の患者まで多様です。そのため「おおむね5分以上」という診察時間の境が非常にあいまいであり、患者の対応によっては数分の違いが出てきます。

患者の皆さんも診療費が変わり戸惑うこと、また、病院は医師を中心に看護師や薬剤師などとの連携による診療であることなどから、この5分要件は道理に合いません。

そのため、「5分以上の診察要件」の撤回を国に対して働きかけていただくようお願いしています。





### ⑧ 鮎貝まちづくり事業関連事業の整備促進について

都市基盤の整備とともに、住む人が幸せを実感できる魅力あるまちづくりを進めるために、鮎貝まちづくり事業に関連する各事業の整備促進について要望しています。



▲文化交流センター、子育て支援住宅などの基盤整備が進む

### ⑨ 広域幹線ネットワークを形成する道路の整備促進について

国道287号、348号や主要地方道、一般県道の広域幹線ネットワークを形成する道路の整備促進を要望しています。

1. 米沢〜白鷹間の規格の高い道路の早期着工
2. 国道287号(高浦地内)の早期着工
3. 主要地方道米沢南陽白鷹線(杉沢地内)の早期着工

### ⑩ 山形鉄道株式会社の経営改善に係わる財政支援について

フラワー長井線の存続に向け、施設の維持、更新に係る各種補助金の確保や、利用拡大策の強化、運営に係る財政支援を要望しています。



▲マイレールの存続は地域住民の願い

### ⑪ デマンド型交通システムに対する支援について

だれもが暮らしやすいまちづくりを進めるために、平成20年度から試験的に導入するデマンド型交通システム運行に対する県補助金の継続と地方交付税の拡充について要望します。

### ⑫ 県立高等学校の再編整備の在り方について

荒砥高等学校は地域に根ざした開かれた学校づくりを進めており、地域にとって重要な

な高校であることから、その存続を要望しています。

#### 継続事業等要望一覧

#### 【事業推進】

- ① 森林管理道白鷹東部線(県代行)
- ② 森林病虫害等防除対策事業
- ③ 治山事業
- ④ 国道287号(黒滝橋付近)道路改良
- ⑤ 国道348号(滝野地内)交差点改良
- ⑥ 主要地方道長井白鷹線(鮎貝地内)道路改良及び歩道設置
- ⑦ 実淵川(高岡地内)臨時河川整備事業
- ⑧ 滝の入沢(畔藤地内)通常砂防事業
- ⑨ 手沢(黒鴨地区)通常砂防事業
- ⑩ 大石沢(横田尻地内)通常砂防事業
- ⑪ 大林寺砂防自然災害防止事業(急傾斜)
- ⑫ 公共下水道事業

■ 問い合わせ 総務政策課  
政策企画係(☎85-6123)

**新規** **農業生産基盤の整備について**

国において、平成19年度から、担い手経営安定新法と経営所得安定対策等大綱に示された「品目横断的経営安定対策」「米政策改革推進対策」「農地・水・環境保全向上対策」が本格導入されました。本町においても、多様な就農形態や農村環境を踏まえた施策の展開が必要になっており、生産性向上と経営の安定に向けた農業生産基盤の整備2点について要望します。

1. 鷹山地区県営基盤整備事業の早期着工  
萩野地内では農地の基盤整備が行われておらず、耕作にも大型機械が導入できず非効率な作業が続いています。そのため、農地の借り手も確保できず、荒廃化の要因となっています。農業経営の安定化と産地づくりを進めるため、本事業の早期着工を要望します。
2. 基幹水利施設ストックマネジメント事業の新規採択  
白鷹揚水機、鮎貝排水機、諏訪堰頭首工は、設置から20数年が経過しました。ポンプ、エンジンなどの設備の老朽化が進み、農地保全や災害防止に支障をきたす恐れがあることから、早急な整備改修が求められています。そのため、本事業の新規採択をお願いしています。

**新規** **地上デジタル放送の難視聴地域に対する支援措置の拡充**

2011年7月から、現在のテレビのアナログ放送を見ることができなくなります。地上デジタル放送への移行に対応するために、既存の共聴組合が有線共聴施設を改修する場合、現在の補助制度では、改修に要する費用のうち1世帯当たり3.5万円を負担しなければなりません。そのうえ、補助対象経費の2分の1が100万円以上でないと対象にならないことから、小規模集落や高齢化が進んだ地区では、事業費の確保が難しい状況です。

本町のような地域でも、格差のない平等な情報を受けることができるように、現在の補助要件の緩和など難視聴地域に対する支援措置の拡充を要望しています。

6月30日、白鷹町の地域特性を生かした農業を振興していくために、農業関係5団体による「白鷹町地域農業活性化センター」を設立しました。

町では、地域農業を取り巻く厳しい環境の中で、地域の財産である農地の環境を守り、持続できる農業を次世代に伝えていく責務を強く感じています。そのため、町民の皆さんの意見を十分反映し、地域の活力を生む農業とするために、本センターを設置しました。

設立総会開催

設立総会には、構成団体の皆さんが出席し、会員から活性化センターのあり方や事業計画に関して活発な討議が行われました。

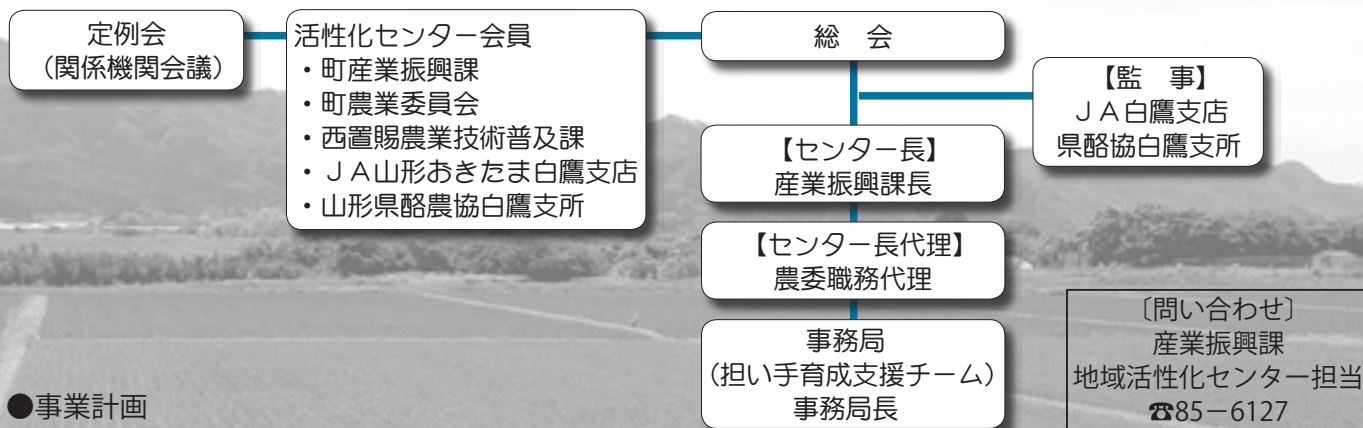
橋本町長はあいさつで「農業振興の主体となる関係機関が連携し、総合力をもって課題の解決に向かってチャレンジすることが大切であり、町も体制づくりを含めて取り組んでいく」と述べました。

その後、樋谷謙滋郎農業委員会会長の祝辞では「耕畜連携の取り組みや農家のためになる取り組みはどのようなものか、白鷹の農業の行き先を大局的に見抜いて、支援してほしい。また、机上ではなく現場の声を十分聞いたうえで計画してほしいものである」と実情を踏まえての激励をいただきました。

白鷹町地域農業活性化センターの概要

本センターは、相談窓口を産業振興課内に設置し、情報発信のための整備を行います。重点的な取り組みとしては、関係機関との連携を強化し、有利な補助事業導入のため体制を整備します。また、集落機能を活用した農地の保全や有効活用のための仕組みを整備していきます。

●組織図について



●事業計画

- (1) 総会、定例会（関係機関会議）、事務局会議の開催
- (2) 総合支援窓口を産業振興課内に設置、連絡体制の整備、広報などによる周知
- (3) 担い手育成・確保総合支援事業実施計画（アクションプログラム）の作成
- (4) 担い手農業者（アクションサポート）会議の開催
- (5) 担い手育成支援チーム（担い手支援の実働メンバーで設置）
- (6) 集落営農等の育成（モデル集落や農用地利用改善団体モデル地区の設定）
- (7) 耕畜連携の推進（酪農家と水田農家による堆肥とワラの交換、未利用農地・転作田の活用）  
エコエリア、エコファーマー、特別栽培米の推進  
（対象：鮎貝地区/サンファームしらたか、町下地区/土里夢ファーム）
- (8) 遊休農地の解消（整備と調査を実施）  
平成20年度やまがた新時代産地地形形成事業の実施（中山地区 整備面積4.0㍊）
- (9) 新規就農者及び若手農業者（3～5年）の組織化支援



# 協働のまちづくり推進研修会を行います

研修テーマ「これからの地域づくりに求められるもの」

白鷹町では、平成16年4月より「白鷹町協働のまちづくり条例」を施行し、住民自治の実現から町民が幸せを実感し、いきいきと生活できる住みよいまちを目指して、まちづくりを進めてきました。条例の第17条には、この条例がまちづくりの基本原則として適切に機能しているかを検討し必要な対策をとる規定を設けており、現在町民のかたがたと町職員が協働で「白鷹町協働のまちづくりステップアップ事業」に取り組んでいます。

この研修会は、その「白鷹町協働のまちづくりステップアップ事業」の一環として取り組むもので、協働のまちづくりをより一層進めていくために開催します。

●いつ 8月6日(水)午後7時開会(終了予定9時)

●どこで 中央公民館3階大会議室

●講師 櫻井常矢さん(高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科准教授)

●受講料 無料

●参加申込 会場の座席に限りがありますので、事前に事務局までお申し込みください。  
\*電話、ファックス、Eメールでお願いします。



櫻井常矢 (さくらい つねや)

山形県村山市出身。群馬県高崎市在住。東北大学大学院教育学研究科後期博士課程修了、教育学博士。専門

は社会教育学・生涯学習論・地域づくり教育。地域づくりのプロセスに住民主体の調査・学習などのワークショップ活動やNPOの事業活動を介在させた社会実験を各地で展開。人材育成を軸としたコミュニティ再生や住民自治システムの構築に実践的にアプローチするなど、各種自治体政策にアドバイザーとして関与。住民向け学習会や行政職員研修を全国各地で重ねる。

■最近の主な著書:

- 「NPOの教育力」(東京大学出版会)
- 「コミュニティ再生と地方自治体再編」(ぎょうせい)
- 「コミュニティの自立と経営」(ぎょうせい)
- 「地域コミュニティの支援戦略」(ぎょうせい)

申込・お問い合わせ先  
まちづくり推進課企画振興係  
☎85-6110(直通) / fax 85-2128  
E-mail:machi@so.town.shirataka.yamagata.jp

## “ありがとう” さくらバス

—町営バス休止のお知らせ—



8月からのデマンドタクシーの導入(※1)により、平成8年から運行を続けてきた町営さくらバスが休止することとなります。

それに伴い、ご乗車いただいたお客様さまへ、さくらバスへの感謝の気持ちとして、サービスマン運行を実施します。皆さん、最後の機会です。さくらバスに乘車しませんか。

### ★さくらバスに乗って、温泉さ来ておこやい (パレス松風入浴半額券を配布します)

さくらバスを利用し、「パレス松風」停留所で下車されたお客さまは、温泉入浴料が半額になります。バス下車の際に、運転手より「入浴半額券」をお受け取りのうえ、ご利用ください。  
\*「入浴半額券」は当日のみ有効です。

○実施期間 7月31日(木)まで

\*土日は運行していません。

■問い合わせ パレス松風 (☎85-11001)

(※1) デマンドタクシーの導入について

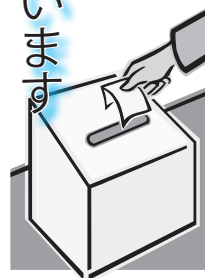
8月からのデマンドタクシーの運行(川西地区)については、7月11日配布のチラシをご覧ください。

◎注意 町営荒砥く大瀬線は、平成21年3月末までこれまでどおり運行します。

■問い合わせ 総務政策課 政策企画係 (☎85-6123)

# あなたも名付け親になろう！

(仮称)白鷹町文化交流センター―愛称の投票を行います



平成21年10月のオープンを目指して整備を進めている(仮称)白鷹町文化交流センターの愛称を公募したところ、全国各地から1728件もの応募がありました。その中から、町では「文化交流センター愛称選考委員会」の選考報告を受け、次の5件の候補を選びました。

あとは、この5つの中から町民の皆さんの投票で決定していきたくと考えています。あなたが「これだ！」と思う愛称に、ぜひ投票をお願いします。

なお、当初は愛称の応募者及び投票者から抽選で10人のかたに図書カードを贈呈することにしていましたが、応募者多数のため、愛称応募者から10人、愛称への投票者から10人、計20人のかたに図書カード10000円分を差しあげます。詳しくは次のとおりです。

## ○愛称の候補は次の5つ！どれも夢が広がる名前ですね。

愛 称	愛 称 の 説 明
み る べ	「行ってみるべ」「やってみるべ」「見てみるべ」「飾ってみるべ」などいろんな「みるべ」があるところという意味。
あゆーむ	白鷹といえば「あゆ」。文化交流の夢を乗せて「鮎夢」、すすいと交流拡大に向けて「歩む」という意味で。
はぴてらす	いろいろな催しに老若男女が集い、語り合えることは、まさに「ハッピー」。また、次代を担う子どもたちへと継承され、未来を「照らす」施設であってほしいということから、2つの言葉を結合したものの。
エガッタ	子どもからお年寄りまで、行ってよかったという気持ちを親しみやすい言葉で。しかも音にしたときに、今風な感じにも聞こえ、若い世代にもアピールできるもの。
わくろす	たのしいわ！うれしいわ！人の和。さまざまな素敵な「わ」が行き交う(=クロスする)センターという意味。

\*最終的に表記はひらがなまたはカタカナになる場合があります。

\*愛称の前後に「しらたか」「白鷹」などが入る場合があります。

\*「文化交流センター」「文化交流館」などの正式名称と併記される場合もあります。

### ■投票できるかた

- ①町内在住または町内に通勤・通学をしているかた
- ②白鷹町出身のかた

### ■投票方法

投票は次のいずれかの方法でお願いします。

- ①専用の投票箱に投函する
- ②郵便またはファックスで送る
- ③電子メールで送る
- ④広報しらたか「直通便」のはがきを使う
  - ・一人1票とし、複数票を投票した場合は無効です。
  - ・投票する愛称を一つだけ選んで記入してください(投票箱のところにある専用用紙の場合は、○で囲むだけで結構です)。
  - ・住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業を書いてください。町内在住でない場合は、学校名または会社名と所在地を記入してください。町外にお住まいの町出身者の場合は、どこの出身であるか(蚕桑出身など)を書いてください。

### ■投票所(投票箱の設置場所)

役場1階ロビー、中央公民館1階ロビー、各地区公民館、町内各小中学校、荒砥高校、パワーセンター、パレス松風、あゆ茶屋 ほか

### ■投票所以外での投票先

- 郵送の場合  
〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833  
白鷹町まちづくり推進課「愛称募集事務局」あて
- ファックスの場合 FAX0238-85-2128
- 電子メールの場合  
E-mail: machi@so.town.shirataka.yamagata.jp

### ■投票締め切り 7月31日(木) 必着

\*なお、各学校の投票箱は、終業の日を締切日とします。

### ■問い合わせ

まちづくり推進課内事務局 (☎85-6110)



# フラワー長井線を活用した“まちづくり”事業を応援します！

## マイレールサポート事業募集中！

フラワー長井線利用拡大協議会では、“地域の足であるフラワー長井線を地域のアイデアで支える”マイレール・サポート事業を募集しています。長井線と沿線地域の地域資源を結びつけて、地域活性化とまちおこしを進めるものです。フラワー長井線にこだわり、愛着を寄せる団体の皆さん、ぜひご応募ください。

### 【内容】

- (1)平成21年3月31日までに実施・完了し、「マイレール意識の高揚」や「列車イベントの運行企画」「利用拡大広報」などのテーマ・題材に取り組む事業に対して支援費を交付します。
- (2)支援費は事業実績額の範囲内とし、原則8万円を上限とします。
- (3)支援対象事業がすべて完了後、合同報告会を開催する予定です。

### 【申請方法】

- (1)申請期間  
平成21年2月28日(土)まで随時受け付けます。
  - (2)申請書類など  
①申請書、②団体の概要説明書(任意様式)、③実施事業の内容がわかる資料
  - (3)申請と問い合わせ  
フラワー長井線利用拡大協議会  
〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833  
総務政策課政策企画係内(☎85-6123)
- ※実施要綱と申請書は、総務政策課、フラワー長井線沿線各市町、山形鉄道株式会社に準備しています。

## がんばれ！ フラワー長井線



●平成19年度は、次の9団体が事業を実施しました。

- ①置賜さくら回廊おもてなし事業  
実施団体：フラワー長井線をつなぐ会
  - ②フラワー長井線2次交通整備事業  
(レンタサイクル設置)  
実施団体：長井まちづくりNPOセンター
  - ③「フラワー長井線を応援しよう」  
あかなぎLIVE列車  
実施団体：スウィングガールズおきたま応援隊
  - ④四季の郷駅記念事業  
実施団体：四季の郷駅記念事業実行委員会
  - ⑤I can meet Santa!  
フラワー長井線クリスマストレイン運行事業  
実施団体：長井中央商店街振興会
  - ⑥みなさまに感謝！新年もちつき列車運行事業  
実施団体：ギャラリー駐車場の会
  - ⑦第4回「第20回東北学生音楽祭」  
実施団体：東北学生音楽祭実行委員会
  - ⑧「ホワイトプラン(そうだ！田舎に嫁ごう)」  
実施団体：長井商工会議所青年部会
  - ⑨お雛まつり列車運行事業  
実施団体：長井おやこ劇場
- ※マイレールサポート事業総参加者数 4,984人

## 乗って残そう！ 思い出も。



フラワー長井線は、最近観光の分野で注目され、団体の観光による利用客数は1万人を超え、利用拡大、交流拡大につながっています。しかし、少子化の影響は避けられず、通学定期的利用者は減少しています。そのため、厳しい経営状況は改善されていません。

そこで皆さんにお願いします。町の皆さん「1年に1回」乗ってください。そうしていただくことで、長井線がいきいきとし、地域が活気づきます。近年は、七夕列車やビール列車などのイベント列車、駅構内での物産販売、長井線グッ

ズの販売など、楽しいことがいっぱい。ぜひ長井線を思い出づくりで生かしましょう。自動車に慣れた人でも、たまに乗ったときのレールの振動、沿線の景色には感動します。

高校生、お年寄りの足として、10年後、20年後、鉄橋を走る「フラワー」の姿が見れるように、踏切の「カンカンカン」が聞こえるように、今「1年に1回」。

※「利用回数券」を随時販売しています。総務政策課政策企画係でお買い求めください。

■問い合わせ フLOWER長井線利用拡大協議会(総務政策課 政策企画係 ☎85-6123)

## フラワー長井線を盛り上げよう

### 七夕列車に 東北各県から1000人のお客さま



6月28日、29日、荒砥駅にて、七夕列車のお出迎えイベントが行われました。駅舎内には、あらと・よつば両保育園児が書いた短冊が、駅資料館ボランティア会の皆さんの手で華やかに飾り付けられ、お客さまを歓迎。物産市では、地元八幡女性部の皆さんと観光協会によるおもてなしが行われました。これからもツアーの受け入れなどを通し、フラワー長井線をみんなで盛り上げていきましょう。

9/21  
(日)

今年もこの道で走りたい！



# 第43回 白鷹若鮎マラソン大会

## 出場者募集

- コース  
日本陸連公認コース(第7669号)  
スタート・ゴール 蚕桑小学校
- 参加者募集  
健康で自分が希望するコースを完走できるかた  
・壮年男子の部は、平成20年9月21日現在で、満40歳以上のかた
- 参加料  
高校生……………2000円  
一般……………3000円  
(2キロの場合は、2000円)  
小・中学生……………1000円
- 種目  
・ハーフマラソン 一般の部  
(制限時間2時間15分)  
・10マイル 一般の部(制限時間2時間)  
・10キロ ①高校の部  
②一般の部  
・5キロ ①中学男子3年の部  
②女子の部  
③壮年男子の部  
④中学男子1・2年の部  
⑤中学女子の部  
⑥小学生以上
- 申込締め切り 8月8日(金) 消印有効



●白鷹若鮎マラソン大会にご協力を！ 「ボランティア運営スタッフ」募集  
…大会当日、大会運営(受付、記録証交付補助など)にご協力いただけるかたは、  
下記問い合わせ先までご連絡ください。また、大会当日、会場において売店等の出  
店をお考えの団体、個人のかたはご相談ください。

■申込・問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係  
「白鷹若鮎マラソン大会実行委員会 事務局」  
☎85-6147 (直通) FAX85-2183







# 第23回町民ソフトボール大会のおしらせ



毎年恒例の町民ソフトボール大会が開催されます。また、今年は剛速球を体験できる楽しいゲームも行われます。見るだけでも楽しめる企画ですので、ぜひご来場ください。

## ソフトボール大会参加チーム募集！

- いつ 8月5日(火)～9日(土) ナイター
- どこで ソフトボール場
- 種目と参加資格
- ①一般男子の部、一般女子の部  
＝平成20年4月1日現在で15歳以上のかた
- ②壮年男子の部  
＝昭和44年4月1日以前に生まれたかた
- チームの編成
- 地区・町内などの地域単位で編成されたチーム、町シニアチーム
- 監督1人、コーチ1人、選手20人以内
- 試合方法 トーナメント方式
- 参加料 2,500円
- 申込方法 各地区公民館にある申込書に必要事項を書き、参加料を添えて提出してください。
- 締め切り 7月22日(火)
- 監督会議 7月28日(月)午後6時30分・中央公民館
- 申込・問い合わせ  
産業振興課・橋本 (☎85-6127)

## ソフトボールの剛速球に挑戦!!

- いつ 8月5日(火)午後7時20分～8時20分  
(町民ソフトボール大会開会式終了後)
- どこで ソフトボール場A球場
- 内容
- 中村真投手の剛速球に挑戦してみませんか。
- ヒットを打って、商品をゲットしてください。
- 招待選手

◇中村 真(なかむら まこと) 投手(浅立在住)  
南陽市生まれ。県職員採用とともに、日本男子ソフトボール1部リーグ「山形県庁」でエースとして活躍し、山形県庁解散後は「山形クラブ」で全国大会などに出場。今年、東北で最もレベルの高い「東北クラブ選手権」で優勝するなど、山形県ナンバーワン投手であり、東北を代表する投手でもある。

◇東海林 学(とうかいりん まなぶ) 捕手  
「山形クラブ」の正捕手。全国大会、東北大会で活躍中。

- 募集人数 参加者(打者)は10人とし、応募者多数の場合は抽選で参加者を決定します。
- 参加資格 白鷹町民または白鷹町に勤務するかたで、ソフトボールに興味のあるかた
- 締め切り 7月25日(金)必着
- ※申込用紙は教育委員会事務局、各地区公民館にあります。
- 申込・問い合わせ 教育委員会 (☎85-6144)



6月10日、白石坂ガードレール下の不法投棄物の撤去作業が行われました。この場所は、数年前より不法投棄物が確認されており、昨年より不法投棄箇所として県の台帳に登録されていた区域です。撤去作業に参加したのは、地元住民、地権者、県及び町職員など約30人。ガードレール下の急斜面には、数年間にわたり蓄積されたとみられる廃タイヤ約70本、塩ビ管、マ

## 白石坂(畔藤)で不法投棄物撤去作業実施

# 環境

## 不法投棄

くらし・環境推進係  
☎85-6131

不法投棄(ポイ捨て)が後を絶たない昨今ですが、たとえ煙草の吸殻や空き缶などの小さな物でも無断で捨てれば犯罪です。犯罪のない、モラルの高い社会をつくっていきたいものです。

6月10日、白石坂ガードレール下の不法投棄物の撤去作業が行われました。この場所は、数年前より不法投棄物が確認されており、昨年より不法投棄箇所として県の台帳に登録されていた区域です。撤去作業に参加したのは、地元住民、地権者、県及び町職員など約30人。ガードレール下の急斜面には、数年間にわたり蓄積されたとみられる廃タイヤ約70本、塩ビ管、マ



## 最上川を支流から美しく 萩野地区民がEM泥団子づくり



6月29日、萩野地区民の皆さんが、EM菌（有用微生物群）の泥団子づくりを行いました。最上川を支流からきれいにしようと、昨年から水質改善に取り組んでいます。その効果がみられたことから、継続して実施し、さらに地区民全体の気運を高めていくことを目的として実施しました。今回は約4000個をつくり、乾燥させたあと地区内の最上川の二つの支流や排水路、沼に沈め、最上川の浄化に結びつけていく計画です。

## 大きく育て ぼかぼか農園、さつまいもの苗植え



6月17日、山口地区のぼかぼか農園で、こぐわ・あゆかい保育園、陽光学園、こぶしの家の皆さんがさつまいもの苗を植えました。地元だいこんの会の皆さんが先生となり、園児や施設利用者に植え方を指導。園児の皆さんは、うねに開けられた穴に一本一本苗を刺し、土をかけました。最後に、やわらかいワラを苗の回りに敷きつめながら「でっかいおいもをつけてね」と呼びかけ、秋の収穫を心待ちにしていました。

## 身近な環境を知り、美しい郷を守る 荒砥小学校4年生が水辺環境を調査



6月11日、荒砥小の4年生が、総合学習で貝生川の環境調査を行いました。水質や生物、川辺のごみについてグループごとに調査。水質調査では川の水を汲んで透視度を測定したり、川の汚れ具合を見るCOD値を測定しました。ごみ調査では空き缶やレジ袋などのビニール類、たばこの吸い殻などを拾い、ポイ捨ての現状を知りました。生物の源である水環境を守り、住みよい町をつくろうと理解を深めました。

## やさしきにおかえりなさい 第17回おかえりなさいコンサート



6月8日、中央公民館で、おかえりなさいコンサートが開かれました。多くのボランティアによる実行委員会が主催し、たくさんの歌や劇、バザーが行われました。おなじみのこぶし一座は、世間を風刺し笑いととも、考えさせる内容の時代劇を披露。今年は影法師やモンパディオ山形などが新たに参加し、会場を盛り上げました。参加者が温かさに包まれたコンサート、また一つきずなを深めました。

「鷹」の書を町に寄贈いただききました

町に対して、城戸口栄子さん（山形市在住）から「鷹」の字の書を寄贈いただきました。

この書は山形県総合書道展に出品された作品で、城戸口さんの白鷹町に対する思い入れから寄贈いただくことになりました。大空を羽ばたく鷹のように勢いと勇壮さが伝わってきます。

城戸口さんは書道家として、県の展覧会に出品し入賞するなど活躍されています。

いただいた書は、現在、中央公民館玄関ホール階段の壁面に展示されています。ぜひご覧ください。







6月21日、22日、スピカ駐車場で、バイクによるスーパーデモンストレーションが開催されました。これは「サントラ」が地元との密接なつながりのなかで行われており、「走らせてもらってありがとう」の気持ちを町民の皆さんに伝えたいという思いから実現しました。ライダーは、その場でピョンピョン跳んだり、坂を上ってジャンプしたりして、技を披露。目をまん丸にして見ている子どもたちの姿が印象的でした。

## サンシャイントライアルスーパーデモンストレーション プロライダーの妙技に感嘆の声



6月21日、22日、白鷹スキー場を主会場に、サンシャイントライアルが行われました。3クラス延べ約300人が、白鷹の里山をバイクで駆けました。今年も個性的なセクションが多く準備され、挑むライダーたちを苦しめ、楽しませました。また、大会期間中には全国の選手、スタッフの善意により「岩手・宮城内陸地震」に対する募金も行われ、日本赤十字社を通じて義援金として送られました。

## 第24回サンシャイントライアル&トレッキング 初夏の里山をさわやかに疾走

### 平成20年度白鷹町消防団 操法大会の結果

6月29日  
ソフトボール場駐車場

上位入賞の班の皆さん、おめでとうございます。ポンプ車の部1位、小型ポンプの部1位と2位、小型ポンプ積載車の部(町下)は、7月13日に行われる西置賜支部大会に出場します。

#### ■ポンプ車の部

1位 4分団1部1班(萩野)  
出場者：竹田雅範、紺野真克、紺野桂馬、紺野稔晴、梅津幸治、大滝智和



2位 3分団5部1班(十王)  
3位 2分団1部1班(鮎貝)

#### ■小型ポンプの部

1位 1分団5部5班(山口)  
出場者：渡部貴之、岡部健史、鈴木良彦、伊藤寛人、黒田哲



2位 2分団4部2班(深山)  
出場者：樋口和貴、横沢和毅、羽田勇太、樋口洋一郎、樋口啓一郎



3位 1分団3部1班(北小路)

#### ■小型ポンプ積載車の部

○模範操法

5分団1部1班(町下)

町へのご寄付  
ありがとうございます

#### ●テルス株式会社様

4月10日、テルス株式会社(代表取締役 黒澤利宏)様より、環境美化、環境教育のために、花苗1000本を寄贈いただきました。同社で製品化したリサイクル堆肥を活用し、花苗を荒砥小学校、荒砥駅、町営スキー場、荒砥市街地などに植栽させていただきました。

#### ●仙台コカ・コーラボトリング株式会社社長井営業所様

6月4日、仙台コカ・コーラボトリング株式会社社長井営業所(所長 板垣一也)様より、ミネラルウォーター2リットルペットボトル600本を寄贈いただきました。災害時などに備え、備蓄飲料水として活用させていただきます。



「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」上映会  
～原作者 特別トークショー～

6月8日、パワーセンターで、映画「ぼくたちと駐在さんの700日戦争（通称・ぼくちゅう）」の上映会が行われました。この映画の原作は、山口地区出身のペンネーム・ママチャリさんがブログ（インターネット上の日記）に、自らの体験談をもとにつづった物語で、小説本やマンガとしても発行されています。ママチャリさんが青春時代だった昭和50年代の白鷹・長井が舞台の物語で、映画も半分ほどは実話の部分が含まれているということです。

上映後、ママチャリさんと芳賀道也アナウンサー（山形放送）とのトークショーが行われました。公には素顔は見せていないということでマスクをかぶっての登場となりました。このトークショーは地元だけの開催で、ママチャリさんの故郷に対する思い、愛着から実現しました。

●ブログを通しての子どもたちとの交流

白血病の治療をしていた少年が、このブログを読み、勇気づけられ、完治にまで至ったということ。ママチャリさんは「彼をブログに登場させて応援しました。そのほかの子どもたちもブログに書き込むことで、心のやり取りが生まれています。読んでいる人が元気になり、希望が持てるようにしていきたい」と話していました。このブログの閲覧者などは、「ぼくちゅう」に投稿することを「登校」と呼び、病気などで学校に行けない子や外とのつながりを持たない子、不登校になっている子たちに、勇気と希望を与えています。「ぼくちゅう」には楽しいこと、



面白いことだけでなく、子どもたちに対するさまざまな思い、メッセージが込められているのです。

●その時代の地域、子どもたちについて

映画には高校生の多くのいたずらが描かれています。昔は、子どもたちのいたずらを地域の中で温かく見守る目があったともいえますが「現在は見えないいたずらが多い。償いのできないいたずらはやってはいけないということを知ってほしい」と子どもたちに語りかけました。

●文才はこうしてできた!?

豊かな文才はどこで育てられたかの問いには「高校時代の反省文が原点。先生を感動させる文章をどうにかして書こうと努力したことが、今生きている」と楽しい話も交え、来場者の笑いを誘いました。

●文化の進展について

ママチャリさんは「文化が育っていくということは、それを見たり体験したりした子どもたちが、受け止めて、何かをつくり出していくという、大きな意味があるということを感じてください」と訴えかけました。

ママチャリさんにとって、単に表現の場として始めたブログ活動だったけれども、人生をかけてやることのできる仕事になったということ。これからのますますのご活躍をお祈りします。

本格的に受け入れスタート  
農作業体験修学旅行

7月3日、農作業体験修学旅行の生徒の受け入れが町内各地の農家で行われました。

近年、修学旅行で農作業体験を行うという中学校が増え、白鷹町においても昨年から農家などが研修会などを開催し、受け入れ態勢の整備に積極的に取り組んできました。

この日は、宮城県七ヶ浜町の向洋中学校の2年生61人が本町を訪れ、畔藤、中山、深山などの地域に分散。それぞれ

の農家で、トマトやホップ、酪農などの作業を行いました。紺野伊久雄さん宅では、男子2人、女子2人の生徒を受け入れ、トマト作業などが行われました。まず、トマトを栽培しているハウスを見学。紺野さんが栽培している品種などについて話したあと、トマトを実際に試食し、味や食感の違いを確かめました。その後、作業場に移動し、トマトを商品として出荷するための箱の組み立て作業を行いました。生徒たちは「初めての体験で新鮮です」「住んでいると

ころとは違い、緑がいつぱいあって気持ちいい」と笑顔を見せていました。昼食も農家の人たちと一緒にとり、一日中農作業に触れ、白鷹で過ごした向洋中の生徒たち。疲れ一つ見せないで、思い出を持ち帰ったということです。



農家の人たちと県外の生徒たちが、いつの間にか緊張も照れもなく笑って話している姿。教育面や産業振興面での効果はもちろんですが、ふれあいによる互いの心の交流で新しい価値が生まれること、それがいちばん大きな収穫なのかもしれません。



町指定文化財に  
 「後庵ザクラ」  
 「紙本墨画 天神花鳥図 郷目貞繁筆」を  
 指定しました

今年度、新たに2つの文化財が町の指定となりました。

町では、歴史的・文化的価値の高い両文化財を永く保存

すべきとし、町の文化財保護審議会へ諮問し、その答申を受け、指定することが決まりました。これで、町指定文化財は全34件となりました。

○後庵ザクラ（平成20年4月30日指定）

鮎貝八幡神社の北側に位置するエドヒガンザクラ。樹齢約680年と推定され、町の古典桜として貴重な1本です。  
 ＊推定樹齢は、大津正英氏（山形県文化財保護指導員）の調査による。



▲後庵ザクラ



▲紙本墨画 天神花鳥図

○紙本墨画 天神花鳥図 郷目貞繁筆（平成20年6月10日指定）

十王・称名寺に伝わる三幅対の掛幅。中央の掛幅には、菅原道真公が描かれ、紙本墨画では唯一のもの。作者の郷目右京進貞繁は、山形県出身の室町時代の武人画家。

白鷹町青少年育成町民会議  
 総会開催

6月28日、中央公民館で、町青少年育成町民会議総会が開催されました。

席上、ボランティア活動などに功績のあつた荒砥高校生徒会、西中学校生徒会、東中学校生徒会、スポーツ少年団活動に功績のあつた梅津優一さんに表彰状が贈られました。その後、受賞者全員が活動内容について発表。東西中学校からは、プルタブ・空き缶回収の報告などが行われました。総会では、今年8月6日に、町内の小中学校生、高校生の代表が集まって行われる「子ども議会」について、話し合われました。



7月22日より  
 稲荷ヶ丘町民プールを一般開放します

◎開放期間

7月22日（火）

～8月19日（火）

\*7月28日（月）午後と29日

（火）は「第45回白鷹町小

・中学校及び町民水泳大会」

のため、一般開放は行いま

せん（町民水泳大会の詳細

は、教育委員会までお問い

合わせください）。

\*8月13日（水）は休ませて

いただきます。

◎利用時間

午前9時～午後4時

\*正午から午後1時までには施

錠し、閉場します。

\*東中学校水泳部活動によ

り、一般利用を制限させて

いただく場合がありますの

で、ご了承ください。

◎注意事項

注意事項を守り、事故が起きないように利用しましょう。

◇幼児が利用するときは、必

ず保護者のかたが付き添ってください。

◇入水前には、体をよく洗っ

てください。

◇プールでは、騒いだりふざ

けたりしないでください。

◇監視員の指示には、絶対に

従ってください。

◇持ち物には、必ず名前、学

校名を書いてください。

◇敷地内は全面禁煙です。

◇飛び込みは禁止です。

◇水鉄砲などの持ち込みは禁

止です。

■問い合わせ 教育委員会

生涯学習・スポーツ推進係

（☎8516147）



◎心もいきいき働き盛りの健康づくり～若さを保つ元気な暮らし

**健康診断で血糖値が高めの人（健診結果 要指導・要医療）**

平成15年度（計画策定時）      平成19年度      平成22年度（目標）



※計画策定時の割合は平成13年度健診実績をもとに算出。  
 ※健診受診者の高齢化を勘案しても、目標年度に20.0%を超えない。



**人口と健診状況**

	平成15年度	平成17年度	平成19年度
人口	16,681	16,801	16,400
高齢者人口	4,858	4,878	4,847
健診受診数（人）	3,731	3,880	3,553
糖尿系 要指導・要医療（人） （尿糖・血糖・HbA1C）	645	630	826
健康診断で血糖値が高めの人（%）	17.3%	16.2%	23.2%

※人口：山形県人口と世帯数（平成15・17年）  
 白鷹町住民基本台帳（平成19年）  
 ※HbA1C：ヘモグロビンA1C

目標年度の20.0%を超えてしまいました。

ご存じですか？  
**“メタボ健診”**

平成20年度から生活習慣病、特に、心疾患、脳血管疾患などの発症の重要な危険因子である、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に特化した特定健診・特定保健指導が始まりました。

**目標達成に向けての取り組み**

町では、健診結果が要指導・要医療のかたを対象に「糖尿病予防教室」を開催しました。

平成16年～19年度で、延べ175人が参加しました。教室では糖尿病についての医師の講演会や生活習慣を改善するための行動計画を作成し、計画を実践するための運動や栄養などの学習会を開催しました。要医療のかたには保健師による家庭訪問や電話による受診勧奨を実施しました。

「糖尿病予防教室」に参加して、その後「運動教室」でがんばっている人もおり、健康教室を継続して開催することが重要です。

**健康のひろば**

**高血糖と動脈硬化**

「死の四重奏」とは？  
 びっくりする言葉ですが最近よく耳にします。次の4つの条件が揃うと動脈硬化が加速され、心筋梗塞や脳卒中を起こしやすくなるといわれています。

○4つの条件  
**肥満、高血圧、高血糖、高脂血**

さらに、これに喫煙が加わると、一層動脈硬化が進展して「死の五重奏」になり、極めて危険な状態に陥ってしまいます

**評価と今後の取り組み**

町では毎年、基本健診・人間ドック・健診後の糖尿病予防教室を開催してきましたが、血糖値の高めの人割合が平成19年度の結果で目標年度（平成22年）の20%を超えてしまいました。健診受診者の多くに「健診結果を改善したいと考えているけど、仕事が忙しくて！」という人がいます。

全国的に同様の傾向にあり、国では、国民の健康増進と医療費削減のために特定健診・特定保健指導を医療保険者に義務付けました。平成24年までメタボリックシンドロームの該当者及び予備群を10%減らそうというものです。

個人、医療保険者、町が一体となって取り組んでいきましょう。

“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）





だきまくら

「くわがた」が落ち葉を抱えているのを見て  
「あっ！くわがた抱き枕した。ほくよ、お母さんに抱き枕つくってもらったんだ！」

しゃっきん店

虫かごに「くわがた」を入れてきたので  
保育士「虫かごどこで買ってもらったなや？」  
A男「うん しゃっきん店から」  
B男「ちがう！ひゃっきん店だべー」

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク  
見守り 支え合い  
お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します  
介護ワンポイントアドバイス  
地域包括支援センター Tel.86-0112

●認知症の八大法則と一原則

一人ひとりの症状は違って見えても、認知症のお年寄りには共通の特徴があります。どうしてそのような症状を示すのかを理解することで、介護者の対応は格段に楽になるはず。今回は第二法則をお伝えします。

◎第二法則

より身近な人に対して  
症状が強くなる

相手によって認知症の症状の出方が異なるケースがよく見られます。身近な人に対して認知症の症状がより強く出るのがこの法則です。直接介護にあたっては人とは家族との間に「一生懸命介護しているのに、わたしにばかりひどい態度をとる」「それは大げさよ。わたしにはそ

うではないわ」といった温度差が生じることがあります。懸命に介護している身近な人に対して意地悪ともとれるような態度を示すのは、いわば信頼感の裏返しと考えられます。また、別居している子どもや近所の人などにはきちんと対応できたりするのは、遠い関係の人、緊張を伴う相手ほど認知症の症状がでにくいからです。

この法則を説明しながら、具体的な症状を示せば、身近な介護者の苦勞を理解してもらうことができるでしょう。

白鷹町認知症高齢者見守りステッカーを活用しましょう

ステッカーを掲示しているところは、認知症のかたの見守り、声がけに協力してくれます。「このごろ物忘れをして心配だ」「道がわからなくなり無事に家に帰れるか心配だ」など、地域でお年寄りの見守りをしてほしいかたは、気軽に相談してください。

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します  
事務局 白鷹町地域包括支援センター 0238-86-0112  
緊急連絡先 長井警察署 0238-84-0110

「町報川柳」 じわじわ

樋口 一杯 選

佳作	じわじわと節目感じる還暦か	十王	平 恒人
じわじわと効いて千鳥の花見酒	荒砥乙	土谷	灯一
じわじわと感慨無量涙する	佐野原	五十嵐	あきよ
温暖化じわじわ暮らし変えて行く	浅立	小形	義三
栄転の鼓動じわじわ揺れ止まぬ	畔藤	川井	千代
恵みの雨にじみ新緑生き返る	荒砥乙	大滝	栄子
じわじわと引かれ初めて知る保険	藤沢市	田苗	創真
丁度いい暮らし次第に尻つぼみ	貝生	保科	努
じわじわと不況の波が押し寄せる	畔藤	梅津	とも
山に雨じわじわ浸みて稲稔る	十王	川部	隆雄
じわじわと押しの一歩でしてやられ	高岡	長岡	みち子
じわじわと古い坂道遠回り	十王	鈴木	しげ
じわじわと滲む詰問油汗	山口	石川	与次衛門
じわじわと迫る地球の温暖化	山野	竹田	正子
焼き魚じわじわ声で皿に乗る	畔藤	大木	つる糸
じわじわと人の情けが身にしみる	高玉	金田	コト
じわじわと歯止めの効かぬ温暖化	山口	渡部	喜美子
じわじわと我が身に迫る老いの未知	高玉	片山	時美
じわじわと地球むしばむ温暖化	浅立	高橋	とみ
漬け物桶重しの水がじわじわと	滝野	安達	昭吾
じわじわと食の不安がしのび寄る	横須賀	大滝	健次郎
じわじわと活断層の恐ろしさ	世田谷	遠藤	八重
客一 輸入品頼ったツケがじわじわと	荒砥甲	丸山	正志
客二 じわじわと汚染が迫る温暖化	荒砥甲	植木	英夫
客三 劣勢をじわじわと盛り返す	荒砥甲	五十野	かをる
客四 人情がじわじわ温い失意の日	畔藤	海老名	達夫
客五 将棋コマじわじわ攻める歩の力	畔藤	梅津	いと
地位 感激で滲む涙を素手で拭く	浅立	横沢	直太
天位 じわじわと制度が首を締め付ける	浅立	梅津	たつ系
軸 榎山を視野に捉えた粗大ゴミ	鮎貝	高橋	正
次回「星」七月末日まで。「収穫」八月末まで	鮎貝	高橋	一杯
はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八―二 高橋 白兔			



元気ニコニコウォーキング

▼いつ 7月27日(日) 午前6時30分～9時30分(午前5時45分集合)  
▼集合場所 健康福祉センター前(乗合で県民の森へ)  
▼コース 県民の森林間コース  
▼内容 早朝の澄んだ空気を胸いっぱい吸い込み、沼周辺の林間歩道をゆっくり歩きます。のどが渴いたら白鷹山の

冷たい伏流水はいかがですか。  
\*申込不要。当日お集まりください。

▼次回予定 8月24日(日) 荒砥・鮎貝周遊フットパスコース

■問い合わせ 元気ニコニコ推進会議事務局(健康福祉課 健康推進係) ☎86-0210

白鷹高等専修学校開放講座

▼テーマ 小物つくりとお菓子つくり

▼開催日とテーマ

第1回 7月20日(日) 小物

第2回 10月19日(日) 小物

第3回 12月14日(日) 菓子

▼時間 午前9時～午後3時

▼内容

○小物つくり: 思い出のTシャツを利用して、かわいいポーチや袋物をつくりま

す。図柄を用いてデザインし、

製図、裁断、縫製して完成

させます。

○お菓子つくり: 季節に合わせた材料を使用してお菓子

をつくりま

す。

▼対象 小中学生、大人

▼締め切り 7月18日(金)

▼申込・問い合わせ 白鷹高等専修学校(☎・FAX 85-

2081)

白鷹パークゴルフ場  
第3回白鷹町長杯親睦大会

▼いつ 7月20日(日)

▼どこで 白鷹パークゴルフ場

▼日程

①受付・フリー練習

午前9時30分～

②開会式・競技スタート

午後1時～

③表彰式・懇親会

午後5時～

▼参加費

・男性5000円

・女性4500円

(大会費、プレー料、昼食代、懇親会費を含む)

\*懇親会不参加の場合は男女とも1500円です。

▼競技方法 36ホール(こぶし2回、さくら2回)のスコアを競います。

▼表彰 男女各優勝、準優勝、3位、ブリービー賞

\*飛び賞、ホールインワン賞、参加賞もあります。

▼参加資格 町民のかた、町内にお勤めのかた、町パークゴルフ会員のかた

▼締め切り 7月15日(火)

▼申込・問い合わせ パレス松風(☎85-1001)

白鷹キッズスポーツふれあいキャンプ

子どもたちが、親元を離れ、自然の中での共同生活やスポーツ活動を通して、連帯感や協調性を身につけていきます。

▼いつ 8月8日(金) 午後1時～8月10日(日) 午前11時30分(2泊3日)

▼どこで 中山小学校

▼内容 サッカー、陸上、ユースポーツ、自然散策、創作活動、遊び、調理体験ほか

▼参加対象 小学1年生～中学3年生

▼募集人数 子ども20人(予定)、指導者4人、ボランティア数人(ボランティア参加は中学生以上)

▼参加費 一人4000円

▼持ち物 着替え、タオル、寝袋(布団可能)、洗面・入浴用具、米3合、食器(茶わん、はしなど)

\*定員になりしだい募集終了となります。

▼申込・問い合わせ 白鷹キッズスポーツ/代表 吉田隆

(☎090-9038-3318)

「見て!聞いて!リサイクルのしくみ」参加者募集

▼いつ 8月5日(火)

午前9時～午後4時

▼どこで 万世コミュニケーションセンター(米沢市)

▼内容

①廃棄物のリサイクルなどの仕組みに関する学習、リサイクル施設や最終処分場の見学(施設見学はバス移動)

②廃油を使ったロウソクづくり

▼対象 置賜地域の住民、民間団体、事業者など

▼募集人員 100人(定員を上回った場合は抽選)

▼参加費 無料

\*当日は、昼食を用意します。

▼締め切り 7月23日(水)

▼申込方法 FAXまたは電話でお申し込みください。

▼申込・問い合わせ 置賜総合支庁環境課(☎0238-

26-6034、FAX 023-

8-26-6037)



# 募 集

## 「平成20年若手・宮城内陸地震 義援金」にご協力ください

日本赤十字社では、平成20年若手・宮城内陸地震に伴う義援金を受け付けています。皆さまのご協力をお願いいたします。

なお災害義援金は、税制上の優遇措置（所得税及び住民税の寄付金控除、法人税の全額損金算入）の対象です。

- ▼受付期間 7月18日（金）
- ▼受付場所 日赤白鷹町分区分区（健康福祉センター内）
- 問い合わせ 事務局／健康福祉課福祉係（☎86-0111）

## 西置賜行政組合職員採用試験

- ▼職種及び採用予定人員 一般行政職（初級）
- ①消防職：1人
- ②養護老人ホームおいたま荘職員：1人

- ▼受付期間 8月1日（金）
- ～15日（金）午前8時30分～午後5時（土日祝日除く）

- ▼受付場所 西置賜行政組合事務局（長井市）
- ▼試験日 9月21日（日）
- ▼試験内容
  - 一次試験：教養試験、作文試験、適性試験（筆記）
  - 二次試験：人物試験（消防職は体力試験も行います）

- ▼受験資格
  - 【両職種とも】昭和55年4月2日以降に生まれ、高校卒業（平成21年3月卒業見込みの）かたを含む）以上の学歴を有するかた

- ▼試験会場 長井市立長井南中学校
- ▼申込用紙の請求 西置賜行政組合事務局、養護老人ホームおいたま荘、消防本部・消防署、消防署白鷹分署など
- 問い合わせ 西置賜行政組合事務局（☎88-4336）

- ▼試験資格 昭和60年4月2日～平成3年4月1日生まれのかた
- ▼採用予定数 約120人

- ▼受験資格 昭和60年4月2日～平成3年4月1日生まれのかた
- ▼採用予定数 約120人

- ▼受験資格 昭和60年4月2日～平成3年4月1日生まれのかた
- ▼採用予定数 約120人

- ▼受験資格 昭和60年4月2日～平成3年4月1日生まれのかた
- ▼採用予定数 約120人

- ▼受付期間 7月22日（火）～8月5日（火）
- ▼一次試験日 9月28日（日）
- ▼試験内容（一次） 教養試験、作文試験

※人事院ホームページからインターネットでの申し込みもできます。

- ▼受験申込用紙請求・問い合わせ 仙台入国管理局（☎022-25616076）
- ▼研修期間 9月3日～平成21年3月11日
- ▼開講日時 日曜日・水曜日の午後6時以降
- ▼研修会場 特別養護老人ホーム慈光園
- ▼内容 ホームヘルパーとして働くために必要な知識と技術を学びます。
- ▼受講料 3万円
- ▼受講定員 20人
- ▼申込期間 7月14日（月）～8月15日（金）
- ▼申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。
- 申込・問い合わせ 特別養護老人ホーム慈光園（☎88-2711）

- ▼研修期間 9月3日～平成21年3月11日
- ▼開講日時 日曜日・水曜日の午後6時以降
- ▼研修会場 特別養護老人ホーム慈光園
- ▼内容 ホームヘルパーとして働くために必要な知識と技術を学びます。
- ▼受講料 3万円
- ▼受講定員 20人
- ▼申込期間 7月14日（月）～8月15日（金）
- ▼申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。
- 申込・問い合わせ 特別養護老人ホーム慈光園（☎88-2711）

- ▼研修期間 9月3日～平成21年3月11日
- ▼開講日時 日曜日・水曜日の午後6時以降
- ▼研修会場 特別養護老人ホーム慈光園
- ▼内容 ホームヘルパーとして働くために必要な知識と技術を学びます。
- ▼受講料 3万円
- ▼受講定員 20人
- ▼申込期間 7月14日（月）～8月15日（金）
- ▼申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。
- 申込・問い合わせ 特別養護老人ホーム慈光園（☎88-2711）

- ▼研修期間 9月3日～平成21年3月11日
- ▼開講日時 日曜日・水曜日の午後6時以降
- ▼研修会場 特別養護老人ホーム慈光園
- ▼内容 ホームヘルパーとして働くために必要な知識と技術を学びます。
- ▼受講料 3万円
- ▼受講定員 20人
- ▼申込期間 7月14日（月）～8月15日（金）
- ▼申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。
- 申込・問い合わせ 特別養護老人ホーム慈光園（☎88-2711）

- ▼研修期間 9月3日～平成21年3月11日
- ▼開講日時 日曜日・水曜日の午後6時以降
- ▼研修会場 特別養護老人ホーム慈光園
- ▼内容 ホームヘルパーとして働くために必要な知識と技術を学びます。
- ▼受講料 3万円
- ▼受講定員 20人
- ▼申込期間 7月14日（月）～8月15日（金）
- ▼申込方法 受講申込用紙に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。
- 申込・問い合わせ 特別養護老人ホーム慈光園（☎88-2711）

# おしらせ

## 豊かな自然・ブナの森づくり 活動

昨年度、ブナの木の植樹を行った旧一の坂スキー場の下草刈りと、今年度植樹を予定している上の台公園の下ごしらえを行います。ぜひご協力ください。

- ▼いつ 7月19日（土）午前8時30分～
- ▼どこで 旧一の坂スキー場（横田尻）
- ▼内容 下草刈りなど
- ▼参加人員
  - 地元団体 15人
  - ボランティア 15人
- ▼持ち物 草刈り機またはかま、雨具
- 問い合わせ 豊かな自然・ブナの森づくりの会／小林（☎85-4841）

- ▼いつ 7月19日（土）午前8時30分～
- ▼どこで 旧一の坂スキー場（横田尻）
- ▼内容 下草刈りなど
- ▼参加人員
  - 地元団体 15人
  - ボランティア 15人
- ▼持ち物 草刈り機またはかま、雨具
- 問い合わせ 豊かな自然・ブナの森づくりの会／小林（☎85-4841）

- ▼いつ 7月19日（土）午前8時30分～
- ▼どこで 旧一の坂スキー場（横田尻）
- ▼内容 下草刈りなど
- ▼参加人員
  - 地元団体 15人
  - ボランティア 15人
- ▼持ち物 草刈り機またはかま、雨具
- 問い合わせ 豊かな自然・ブナの森づくりの会／小林（☎85-4841）

- ▼いつ 7月19日（土）午前8時30分～
- ▼どこで 旧一の坂スキー場（横田尻）
- ▼内容 下草刈りなど
- ▼参加人員
  - 地元団体 15人
  - ボランティア 15人
- ▼持ち物 草刈り機またはかま、雨具
- 問い合わせ 豊かな自然・ブナの森づくりの会／小林（☎85-4841）



**Ahresty**

平成20年8月  
新工場完成予定

更なる業務拡大に向け躍進し続けています

株式会社 **ア-レスティ山形**

お問い合わせ 業務課 (Tel.85-5233)

鋳造・加工  
オペレーター  
募集中！！

転しました。これに伴い、事務所の電話番号なども変わりましたので、お知らせします。

- ▼白鷹サテライトオフィス
  - 新住所：〒103-0001 3 東京都中央区日本橋人形町3-6-8 人形町共同ビル7階
  - 新電話番号：☎03-5847-4845
  - 新ファックス番号：FAX 03-5847-4846

県からのお知らせ

景観条例の施行について

7月1日、景観条例が施行

されました。山形県の良好な景観を将来の世代に引き継ぎ、心豊かな県民生活、多様な交流による活力ある県土づくりを進めます。また、大規模な建設行為などでは、事前の届出が必要になります。

#### ▼対象行為

- ① 建築物の新築、増改築、外観の変更、色彩の変更
  - ② 工作物の建設、増改築、外観の変更、色彩の変更
  - ③ 開発行為、土地の形質の変更
  - ④ 物件の堆積
- ▼届出先 行為地を管轄する県総合支庁建築課

※詳しい内容は、県のホームページでご覧ください。

■問い合わせ 山形県土木部管理課県土づくり推進室景観担当 (☎023-63012587)

#### 最低賃金法が変わりました

最低賃金法の一部を改正する法律が7月1日から施行されました。就業形態の多様ななどが進むなか、最低賃金制度が低賃金の労働者の労働条件の下支えとして十分に機能するよう見直しを行いました。

#### ▼改正内容

①地域別最低賃金

② 不払いの場合の罰金の上限額引き上げ

③ 産業別賃金

④ 適用除外規定の見直しなど

■問い合わせ 山形労働局賃金室 (☎023-62418224)

#### パートタイム労働法が変わりました

▼義務化される内容

- ① 雇入れの際、労働条件を文書などで明示する。
- ② パートタイム労働者の待遇はその働きや貢献に応じて決定する。
- ③ パートタイム労働者から正社員へ転換する措置を講じる。

■問い合わせ 山形労働局雇用均等室 (☎023-62418228)

#### 融資制度のごあんない

【ふるさと奨学ローン】

県内への就職促進のための教育ローンです。卒業後、県内に就職・就業した場合は、それ以降の利子に対して、元金200万円を限度に県勤労者育成教育基金協会から年1・0%の利子補給を受けることができます。

▼対象 高校、短大、大学、各種専門学校に入学または在学するかたの保護者(どちらかが会社等にお勤めのかた)

▼融資限度額 最高1000万円まで

▼特別金利(固定金利・保証料込み)

- 5年以内 2・70%
- 7年以内 3・05%
- 10年以内 3・35%

※随時受付を行います。特別金利については、9月30日(火)まで受け付け期間内に実行するものです。

▼融資期間 10年以内(在学中は元金据置ができます)

【生活応援ローン】

町と労働金庫が協力して低利で融資する制度です。自動車購入、教育資金、医療費など、生活資金全般に利用できます。

▼対象者 会社等に1年以上勤め、労働組合がない、または職場に融資制度のないかた

▼融資額 150万円以内

▼金利 年2・0%(固定金利・保証料別)

▼返済 7年以内

▼保証料 年0・3%(県労信協の保証)

※町の保証料補給制度があります。

ます。町勤労者互助会会員は、町より年0・85%の利子補給があります。

■問い合わせ 東北労働金庫長井支店 (☎84-1100)

・産業振興課商工振興係 (☎85-6136)

#### 狩猟免許初心者講習会

▼いつ 8月3日(日) 午前9時~午後4時30分

▼どこで 山形ビッグウイング(山形市)

▼対象 新たに狩猟を希望するかた

▼受講料 7000円(テキスト代、講師料など)

▼締め切り 7月29日(火)

▼申込方法 県猟友会または猟友会各地区支部に受講料を添えて申し込んでください。

■問い合わせ 山形県猟友会 (☎023-62410382)

#### 山形県介護支援専門員実務研修受講試験

▼いつ 10月19日(日)

▼どこで 午前10時~

○山形国際ホテル(山形市)

○山交ビル(山形市)

▼受験資格 保健、医療、福祉の分野で5年または10年以

上の実務経験があるかた

▼受験手数料 8000円

▼受験案内の配布先 山形県福祉人材センター、置賜総合支庁西置賜総務課ほか

▼受付期間 7月22日(火)~8月8日(金)(消印有効)

■提出先・問い合わせ 山形県福祉人材センター試験係 (☎023-62212776)

#### 国民年金に加入の皆さんへ

国民(基礎)年金の上積み年金として給付を行う公的な年金制度です。自営業者など県内に住む20歳から60歳未満のかたで、国民年金第1号被保険者で保険料を納めているかたが加入できます。

【特典】

①掛金の金額が課税所得から控除され、所得税・住民税が軽減されます。

②将来必要な年金額に合わせて自由に年金額が選べ受け取れます。

③掛金は途中で増口、減口、一時休止できます。

■問い合わせ 山形県国民年金基金 (☎023-62513870、フリーダイヤル ☎0120-6514192)



## 大地震からお年寄りの命を守る 「高齢者すまいの地震あんしん事業」

昨年7月の新潟中越沖地震では、古い家屋が倒壊し9人の65歳以上のお年寄りが下敷きとなり尊い命を失いました。「古い家だし…」  
「建て替えや改修も予定は



ないし、このままでもしかたない」とあきらめていませんか。住まい全体の補強には多くの費用がかかりますが、予算の範囲で命が助かる程度の補強ならと考えてみてはどうでしょうか。

県では、大地震の被害からお年寄りの命を守るための地震対策をアドバイスする事業を創設しました。あなたの住まい方にあった安心できる地震対策を行えるようサポートしていきます。

### 【事業の内容】

●対象 昭和56年以前に建築された、夫婦のどちらかが65歳以上の高齢者世帯のみの住宅  
\*県全体で100戸程度を予定しています。

### ●事業の流れ

- ①まずは、現在住んでいる住宅の地震対策を相談してみてください。
- ②耐震相談の結果、部分補強などの対策を考える場合は、県が派遣する「耐震アドバイザー」が現地を見て地震対策などについて助言します。

●募集期間 平成21年2月まで

★まずは事前耐震相談の申し込みをしてください。

### ■問い合わせ

建設水道課管理係(耐震相談窓口)・☎85-6140

## 稲荷ヶ丘町民プールの監視員を募集します

### 1. 雇用職種及び人員等

- 職種及び人員 プール監視業務(1人)
- 勤務地 稲荷ヶ丘町民プール
- 雇用予定期間 7月22日(火)～8月19日(火)  
\*ただし、8月13日(水)は休みです。
- 勤務時間 午前8時30分～午後5時15分
- 勤務内容 利用者の安全管理、水質管理のための機械操作及び施設の衛生管理など
- 賃金 1日5,800円

### 2. 応募資格

満18歳以上の大学生及び社会人で健康なかた(男女は問いません)

### 3. 選考方法

履歴書審査、面接実施後決定し、直接本人に通知します。

### 4. 申込方法

履歴書(市販様式または教育委員会備付様式)に必要事項を記入し、教育委員会生涯学習・スポーツ推進係あて提出してください。

### 5. 受付締め切り

7月17日(木)

### 6. その他

開放期間内で勤務可能な期間があるかたはご相談ください。

\*不明な点はお問い合わせください。

### ■申込・問い合わせ 教育委員会

生涯学習・スポーツ推進係(☎85-6147)

## 身・乳・母の医療証はお持ちですか?

町では医療費の負担を軽くするため、次のような医療証を交付しています。

### ●重度心身障がい(児)者医療証(身)

①身体障害者手帳1・2級または療育手帳Aを持っているかた

②精神障害者福祉手帳1級を保持しているかた

③障害年金1級を受けているかた

④特別児童扶養手当1級該当児か特別障害手当を受けているかた

※ただし、65歳以上の後期高齢者医療受給者(1割負担)で所得税が課税されているかたに扶養されている場合は、負担割合が変わらないため発行していません。

### ●乳児医療証(乳)

所得額が所得限度額(広報しらたか6月12日号掲載)を満たさないかたで

①就学前の乳幼児

②児童を3人以上扶養している場合の3人目以降の就学前の乳幼児

### ●母子家庭等医療証(母)

①配偶者のいない女子で、18歳以下の児童を扶養しているかた及びその児童

②両親が共に(身)に該当している児童

③夫が重度心身障がいにより長期にわたり労働力を失っている妻と児童

※ただし、(母)は扶養義務者が就労などで一定の収入があり、所得税が課せられていない場合対象となります。

これらに該当していて、医療証をお持ちでないかたはお問い合わせください。

お問い合わせ先

町民税務課 国保医療係  
☎85-6130

# 戸籍の窓

●6月1日▶6月30日

## ご結婚おめでとう

氏名	住所
沼澤喜郎	中山
(菅原綾子)	荒砥乙
(金山田規嗣)	高井市
(中山田恵智)	長井市
(中布川和香)	畔江市
(金田禎史)	高玉町
(横山美由紀)	川西町
(堀野圭太)	萩野
(清野美沙希)	萩野

## こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
畔藤	横山 和真	大和
鮎貝	佐竹 善奈	彩花
山口	岡部 典愛	菓子
高玉	高橋 賢由	咲花
荒砥乙	工藤 和香	華蓮
下山	安部 智千	心陽
浅立	小形 暢弥	陽延
鮎貝	芳賀 恵子	聖也
十王	小笠原 正亜	正宗

## おくやみ

住所	氏名	年齢
十王	小関 道則	53
高玉	金子 博	64
荒砥甲	中嶋 はる	78
荒砥乙	谷口 亘	85
山口	中川 吉雄	85
萩野	梅津 はるの	83
荒砥乙	土谷 みは	92
荒砥乙	保科 志ん	97
浅立	高橋 ノブ子	78
山口	大嶋 傳十郎	85
荒砥甲	鈴木 嘉藏	94
荒砥甲	山川 トクエ	86
荒砥甲	小林 茂次	85
中山	鈴木 利三郎	94
横田尻	荒木 幸雄	75
浅立	鈴木 一太郎	84
畔藤	大木 安雄	77

7月上旬の今日、暑くはあるが、さわやかな風が吹き、また空に棚引く雲、その上空にはすつきりした青空がある。見渡せる範囲、健康的な美しい自然であり、ここに自分があることに安堵感を覚える。

今月7日から9日まで、北海道洞爺湖サミット（G8主要国首脳会議）が開かれる。今回はとりわけ、地球環境・温暖化対策が中心議題となるようだ。

本町の中から見える景色とは裏腹に、ある人は「今、地球は悲鳴を上げている」という。環境破壊、原油・食糧等資源の急激な高騰、社会の秩序・安全が崩壊する危険性。20世紀型の文明発展の影の部分、国際的課題として地球規模でのしかかっている現状である。

これから先、我々はこのような思想と国際感覚を持って、21世紀のあるべき日本を目指して行くべきか。ある新聞紙上で、次のような識者の見方が述べられていた。——持続可能な社会とは、今世紀の環境状況を考え

ると、21世紀は「環境文明社会」を日本が目指すべきだ。「環境文明社会」とは、政治的には民主主義、経済的には市場経済を基盤としつつ、①物質的には、脱化石燃料と省物質を追求し、再生可能な資源エネルギーを積極的に活用し、水・森林・土壌など生き物を含む自然環境を持続的に保全する社会、②文化的に

## 町長随想 ⑧〇

### 『これからの社会と地域』

そのような特徴を持つ社会を目指すべきだ——という。

今、山形県民の母なる川・最上川を世界遺産にという声が高まっている。それならなおさら最上川は清流化していかなければならない。萩野地区においては、EM菌（有用微生物群）を使って最上川を支川から浄化しようという活動を始めている。

果も踏まえ、さらなる本町の浄化の拡大について、検討することとなる。買い物などにおけるマイバック運動も着実に進んでいる。これはなんといつても、町民の意識の有無に左右される。「全家庭がマイバック持参の買い物」それが自然である日が、一日も早く来てほしい。

また地域の文化は、地域環境に触発されながら、地域に住む人びとと交流する人びととの知恵が融合することにより花開く。次の世代を安心して育てられる地域形成を目指さなければならぬ。そして、産業経済は地域の差はあれ、その基本は時代背景の中で人として永続的に生き、生きがいにつながり、環境との密接な関係のもとに社会を活性化させる形で進められていく。

今2008年、これからの時代、我々は20世紀型の文明発展の有り様とは異なる、よりよい地域社会の形成に全力で挑戦する必要があります。

## 橋本光記

▼町内を車で走っていると、セミの鳴き声に気づき木を見上げている小学生たち、また、カブトムシを捕まえて街灯の下をお家の人と歩いている子どもたちの姿を見ました。自分の時と重ね「昔と変わらぬ」とふと思いました。時代は移っても、子どもたちが興味を持つ物や、楽しいことはそれほど変わっていません。そして、みんな無邪気で、元気がいい。ママチャリさんはいいました「変わったのは大人であり、社会のシステムだ」と子どもたちに形を教え、道を示し、鏡となるのは、わたしたち大人です。鏡が曇らないように、いつも磨きをかけられる余裕を持ちたいですね。（つめつ）



広報しらたかは再生紙を使用しています。